

会 議 録

会議名称	令和4年度 第1回 大空町廃棄物減量等推進審議会	
開催日時	令和4年5月30日(月)	午後6時30分から 午後7時45分まで
開催場所	東藻琴消防カルチャーセンター 2階会議室	
出席者の氏名	坂本一光 会長、藤本京一 委員、山本幸一 委員、 菅野宏治 委員、河西美香 委員、大槻晶子 委員、 田中優子 委員、石川直美 委員、近藤慶子 委員、 嶋崎武 委員 町 長 事務局：住民課 星加課長、佐藤主幹、阿部主査 住民福祉課 下元主幹	
傍聴者の数	なし	
会議資料の名称	令和4年度第1回 大空町廃棄物減量等推進審議会議案 資料1 廃棄物の処理状況、経費・収入の状況 資料2 一般廃棄物焼却処理施設の整備について 資料3 住民説明会資料(案)	
審議内容及び結果	【審議内容】 (1) 令和3年度における廃棄物処理状況について (2) 廃棄物の広域処理に係る検討状況について (3) 住民説明会の開催について(廃棄物処理状況・ 手数料改定等)	

【審議結果】

(1) 及び (2) は報告事項

(3) 女満別及び東藻琴の各地区での開催が必要である。

案の説明会開催後に広域処理に内容を絞った説明会の開催が必要。

< 審議会顛末 >

1 開 会

[会長] 昨年12月にごみ処理手数料見直しに関する答申を行い、今年3月の町議会で関連条例の改正が可決された。

本審議会は、引き続き廃棄物の処理状況等の確認をしていくこととしている。

2 議 事

[事務局] (1) から (3) 一括説明

[委員] 広域処理の焼却処理施設整備について大空町を候補地として打診されているとのことだが、受けることになるのか。

[事務局] まず、住民説明会を開きメリット・デメリットの情報を提供し、合意を得られることが必要である。

[委員] 具体的な場所を想定して、説明する方が現実的に考えられるのではないか。

[事務局] 合意を得られてから初めて具体的な場所の案を出しての検討となる。

[委員] 合意を得られなければ、大空町での話が無し、となるのであれば、整備がどんどん遅れてしまうのではないか。早期の整備が必要なのではないか。

[事務局] しっかりと、メリット・デメリットを示

し、判断を促していきたい。年内には本町での整備の可否について決着をつけたい。

[委員] 最終処分場の残余容積が残り少ないと思うが。

[事務局] 埋立てする廃棄物の量が想定できなければ、次期最終処分場の具体的な検討が難しい。広域処理で規模の大きい焼却処理施設を作ることができれば、焼却できる品目を増やすこともできる可能性があり、最終処分場の規模縮小の検討ができる。

ただ、残余容積が少なくなっているのは事実。最終処分場も広域処理が出来ないか検討しながら、焼却処理施設の整備検討に追随していきたい。

[委員] 住民説明会は、理解をいただけるまでそれぞれの地区で数回必要だと思う。

[事務局] まず、手数料改定・廃棄物の処理状況・広域処理の検討状況の触りの内容で開催し、その後、広域処理に絞った形で開催していきたい。

(4) その他

[事務局] 近隣の広域処理施設の視察を行いたい。遠軽町であれば日帰りが可能。今の焼却処理施設がどのようなものか、各委員にも理解していただき、今後の協議の参考としていただきたい。

今後日程等の調整を行いたい。7月上旬～中旬を想定。

(全委員賛同)

	<p>[会長] その他、各委員から何かあるか。</p> <p>(各委員から無し)</p> <p>[会長] 以上で、令和4年度第1回廃棄物減量等推進審議会を閉じる。</p> <p>【以上、午後7時45分 閉会】</p>
--	--